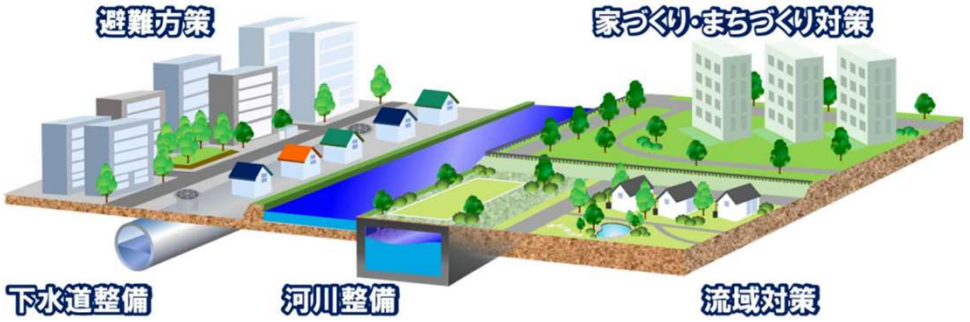
大田区豪雨対策基本方針（概要版）

概要

- 近年、気候変動に伴う集中豪雨の激甚化・頻発化が進み、呑川・丸子川・多摩川といった複数の流域を抱える大田区では、内水氾濫による浸水被害が深刻な課題となっています。
- 令和７年9月11日、大田区では初めてとなる「記録的短時間大雨情報」が発表され、雪谷地区を中心に区内広範囲に深刻な浸水被害をもたらしました。
- こうした状況を踏まえ、大田区は区民の生命と財産を守ることを最優先課題と考え、本方針を策定します。



出典：東京都「東京都豪雨対策基本方針（改定）」

位置付け

本方針は、区の総合計画や関連する個別計画「大田区国土強靭化地域計画」「大田区地域防災計画」「大田区災害復興ビジョン」、東京都が策定した「東京都豪雨対策基本方針」「呑川流域豪雨対策計画」「谷沢川・丸子川流域豪雨対策計画」「内川河川整備計画」などの上位計画と整合を図りながら、区の特性を踏まえ、区内で実施する豪雨対策をとりまとめたものです。

具体的な取組

【大田区豪雨対策基本方針における目標】
「時間85mmの降雨まで浸水被害を防止」とする東京都の目標を実現するため、「流域対策」「下水道整備」「河川整備」「家づくり・まちづくり対策」「避難対策」の５つの施策を総合的に推進する。

1　流域対策	✓ 公共施設における雨水貯留浸透施設の設置 ✓ 一定規模以上の施設における雨水貯留浸透施設の設置指導 ✓ 小規模民間施設における雨水浸透施設や雨水タンクの設置助成を実施 ✓ グリーンインフラの活用推進
2　下水道整備	✓ 東京都城南五区下水道・河川連絡協議会等を通じた下水道施設の早期整備の要望
3　河川整備	✓ 東京河川改修促進連盟、東京都城南五区下水道・河川連絡協議会等を通じた河川整備の早期完了等の要望
4　家づくり・まちづくり対策	✓ 大田区防災ハザードマップと浸水実績情報の提供 ✓ 止水板設置助成制度による建築物の浸水被害防止支援 ✓ 救急救助・災害復旧拠点となる高台まちづくりの推進
5　避難対策	✓ 大田区防災ポータル、大田区防災アプリなどによる気象・河川・避難情報の提供の充実 ✓ 豪雨対策リーフレット、おおた防災セミナーなどによる区民の防災力向上